

人文科学総合研究科 社会・文化環境学専攻の人材育成に関する目的と3つのポリシー 【修士・博士（人間科学）】

研究科の人材育成に関する目的（甲南女子大学大学院学則 第5条）	専攻の人材育成に関する目的（甲南女子大学大学院学則 第5条第2項）
<p>人文科学総合研究科は、言語学・文学、心理学・教育学、社会学・人間環境学を基礎に、相互に連携を図り、それぞれの特定領域において優秀かつ学際性を備えた研究者の養成、高度の専門職業人及び高度の教養人の養成を目的とする。</p>	<p>社会学及び生活環境に関する研究並びにそれに関連する教育科目から教育課程を構成し、各分野の専門性を尊重するとともに分野間の相互連携にも留意しつつ幅広い柔軟な視点から教授・研究を行う。</p>
<p>ディプロマ・ポリシー</p> <p>社会学、生活環境学及びそれらの隣接領域の基盤的知識を習得し、それらの学際的關係に留意しながら、グローバル化し多様化する複雑な現代社会に向き合い、特定領域における高度な教養及び専門的研究能力を身につける。また人を対象とした研究遂行のためのノウハウと研究倫理を習得する。</p>	
<p>カリキュラム・ポリシー</p> <p>社会学、生活環境学及びそれらの隣接領域の基盤的知識を学び、それらの学際的關係に留意しながら、グローバル化し多様化する複雑な現代社会に向き合い、特定領域における高度な教養及び専門的研究能力を養成する課程を構成する。人を対象とした研究遂行に不可欠の研究倫理を視野に入れた課程を提供するよう配慮する。</p>	
<p>アドミッション・ポリシー</p> <p>社会学、生活環境学及びそれらの隣接領域に強い関心を有し、これらの領域に関する基本的知見を習得している人、各領域の研究を遂行しつつ、それらの学際的關係に留意しながら、グローバル化し多様化する複雑な現代社会に向き合い、研究に真摯に向き合える人を求める。</p>	